

## 技能五輪全国大会 佐藤由菜さんが洋裁職種で金賞

11月24日～27日にかけて栃木県で開催された「第55回技能五輪全国大会」において、白鷹高等専修学校研究生2年の佐藤由菜（長井市）さんが洋裁職種で金賞を受賞しました。

技能五輪とは、青年技能者の技能レベルの日本一を競う大会であり、今大会の洋裁職種には全国各地から24人が出場。前回大会に続く2回目の出場となった佐藤さんは、「制限時間内に終わらせることで精一杯

だった」という昨年の悔しい思いを胸に一年間練習を重ね、自信を持って今大会に臨めたと言います。それでも、「まさか金賞をとれるとは思っていなかったの」で、名前が呼ばれたときには本当に驚いた。何かの間違いではないかと思ったりと当時の瞬間を振り返りました。

大会を通し、学校の先生や先輩とコミュニケーションをとることで「人間的にも成長できた」と話す佐藤さん。「これがスタートととらえ、これからさらに勉強して服飾関係の道を進んでいきたい」と笑顔で意気込みました。

①喜びの報告に来庁した佐藤さん（左から二人目） ②大会で佐藤さんが制作した作品



堂々とした発表で来園者を楽しませた園児たち

## みんなを楽しく笑顔に！ ひがしね保育園園児が特別発表会

ひがしね保育園では12月13日、白光園デイサービスの利用者と東根地区の未就園児からお年寄りの方を招き、園児たちが発表会を行いました。

この日は、2歳児から年長児まで全員が出演。かわいらしいサンタクロースの衣装や、おむすびの被り物

を被り、劇や遊戯、合奏などを披露しました。発表会を見に訪れた25人のお客さんは、元氣よく楽しそうに発表する園児の姿に「一生懸命さに涙が出た」「自分の子どもや孫が小さかったころのことを思い出した」と話しながら、園児たちを優しく見つめました。

## 古典桜の守り人を紙芝居に 置賜地区自作視聴覚教材コンクールで特選

12月10日、平成29年度置賜地区自作視聴覚教材コンクール表彰式が南陽市えくぼプラザで行われ、平成28年度の白鷹中学校3年生が制作した紙芝居「桜と守り人」が、児童生徒作品部門において特選の成績で表彰されました。

紙芝居はワークシヨップ形式で話し合い、「薬師桜

を世話するおじさんが不思議な体験をするお話となりました。小学生にもわかる文章で、小さい子でも桜に興味を持っていただける作品になっています。

絵のすばらしさはもちろん、地域学習として大きな意味がある点などが評価され、このたびの表彰となりました。

紙芝居を制作した平成28年度の3年生と関係者の皆さん

